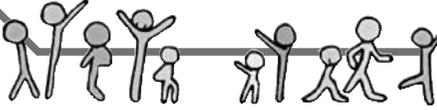


オーストラリアの食文化

文学部 2年 櫻井 美里



私は高校生の時にオーストラリアに3週間留学をしました。留学では英語を学ぶことはもちろん、文化の違いを肌で感じることができました。そんな文化の違いの中で、オーストラリアの食習慣や食べ物について紹介したいと思います。

私は、オーストラリアの食事のメニューは毎日あまり変わらないのかなと思いました。朝はトーストまたはシリアル、お昼はサンドイッチ・ラップが1日おきで変わり、夜はお肉とゆで野菜のワンプレートが基本でした。

下の写真がある日の昼食です。



まず、一番右にあるのがラップです。ラップとは、薄い生地に肉や野菜などの具を入れて巻いて食べるものです。オーストラリアではランチの定番です。左下にあるのがラミネトンというデザートです。スポンジケーキをチョコレートソースでコーティングし、乾燥ココナッツをまぶして作られています。とても美味しいですが、私には半分くらいがちょうど良かったです。そして、私が驚いたのはりんごが丸ごと1個入っていたことです。私は切って皮をむいて食べるので、丸かじりにすることに最初は抵抗がありました。他には、マカロニサラダと Thins のポテトチップスが入っていました。

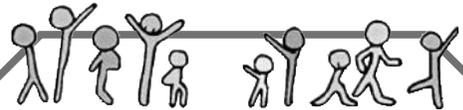
次に、オーストラリアで有名な食べ物をいくつか紹介したいと思います。1つ目は、ティムタムです。オーストラリアと言えばティムタム

と言うくらい有名なお菓子です。皆さんも日本で見かけたことがあると思います。定番のフレーバーは5種類ですが、むこうのスーパーでは期間限定商品などたくさんのフレーバーが並んでいます。2つ目は、下の写真にあるミートパイです。その名の通り、お肉を使ったパイのことです。外はサクサクしていて、とても美味しいです。



これ以外にも、ベジマイトや先ほど紹介したラミネトンやラップも有名です。

日本との食習慣の違いで驚きや戸惑いもありましたが、他国との文化の違いを知り、新しい発見ができたのでとてもいい経験になりました。



英語圏（アメリカ）の食事

文学部 片岡 邦好

まず最初に disclaimer（というか言い訳？）から始めてしまいますが、「英語圏の食事」というお題のままではこのコラムの手に負えないことは明らかです。世界の至るところに英語圏はありますから、「英語圏の食事」は世界の食事を語ることに等しくなってしまうので、私が親しみを込めて語れるのはアメリカの食事情ということになりますが、それとてアメリカ全域の郷土料理をカバーすることは到底できません。したがって以下では、最後の一つを除き、ほぼアメリカ全域で食されている一般的なものを取り上げます。アメリカの食事と聞いてまず日本人が思い浮かぶのは、BBQとかハンバーガーだと思いますが、今回はあえてそういったステレオタイプは除外し、しかしそれでも多くの家庭の味となっている料理をいくつかご紹介します。